

「ケア」を担うのは誰か ～子育て・介護とケアワーク～

日時: 2016年7月2日(土) 14:00～17:30 (13:30開場)

場所: 南山大学名古屋キャンパスR棟3階R32教室

講師:

福田弘子氏

(公益社団法人大阪介護支援専門員協会事務局次長兼研修センター部長)

「ケア」を生きる～介護現場におけるケアマネジャーの役割と現状～

佐藤 静氏

(國學院大學教育開発推進機構助教)

ケアすべきは誰か～ケアされる人のニーズとグローバリゼーションと～

コメンテータ: **森山花鈴**氏

(南山大学社会倫理研究所第一種研究所員/総合政策学部講師)

子育てや看護、介護（介助）といったケアワークは、日本では女性に偏って課せられているのが現状です。さらに、ケアワークのグローバリゼーションが進むことで、ケアの役割は単に女性に片寄って課せられるという構図から、女性間分業（先進国高所得高学歴女性が途上国貧困層女性にケアワークを外注）へと移行しつつあります。それでは、人間の生にとって必要不可欠なケアワークは、誰がどのように担うことがのぞましいのでしょうか。そして、ケアをする人自身のケアは、誰が担うべきなのでしょうか。

今回は、介護の現場に携わってこられた福田弘子氏と、子育て、障害者・児へのケアの研究を続けてこられた佐藤静氏にご登壇いただき、会場全体で一緒にこの課題について考え、自由討論を行います。

【お問合せ】南山大学社会倫理研究所

Phone: (052)832-3111(内線3413・3414) Fax: (052)832-3703

E-mail: ise-office@ic.nanzan-u.ac.jp HP: <http://rci.nanzan-u.ac.jp/ISE/>